

## 第4回 短期集中講座に参加して

北遠地区 竹内 史寿

十二月二十一日から二十三日の二泊三日で中遠地区の高梨和司先生と、第4回短期集中講座に参加させていただききました。会場は今年も8月に全日本選手権が開催された国立京都国際会館です。新幹線で真白に雪化粧した関ヶ原を抜け、昼前に京都駅に到着、軽く昼食を取って会場に向かいます。全日本の時とは違い、人影もまばらな国際会館を目にすると、緊張と不安が高まってきました。

受付を済ませて、午後一時の開講式までの時間で私は喫煙所探し！喫煙所に集まった他の受講者の先生達もまだ口数も少なく、よそよそしい雰囲気があります。そしていよいよ開講式、オリエンテーション、記念撮影の後、講座スタートです。

### 第一講座「全珠連史 現状と展望・組織の運営」

梶川理事長より、全珠連設立前の珠算界・珠算検定試験の実施状況、全珠連設立までの経過、全珠連の主要事業の

歴史、そして連盟の現状と展望に関して重点施策の講義でした。私は全珠連設立から二年で主要事業が形作られた事を知り、先人達の情熱に畏敬の念を覚えずにいられて良かったです。

### 第二講座「公益法人について」

生駒副理事長より、新公益法人制度における本部と支部の関係について、主に会計的な面からの講義でした。会計・事業ともに本部・支部は一体である事、本部・支部会計の一元化の理解と、支部の協力なくしては公益法人の維持は不可能な事などの説明がありました。検定交付金等は本部会計上は仮払いと同じという説明や、任意団体を活用して会員サービスの向上を図るという説明を通して、本部会計の大まかな仕組みを理解することができました。

### 第三講座「会議の進め方」

議員経験の長い平上副理事長より、議会における会議の諸原則・手法についての講義でした。役員的心構えとして、「執行機関と一歩離れ、二歩離れるな」、「批判するには代案をもってせよ」という言葉が印象的でした。

### 「自己紹介・支部自慢」

全国から集まった受講者三十九名が、



一人三分の持ち時間で、それぞれ自己紹介・支部紹介を行いました。センス良くパワーポイントを活用される方が多く、会場もそれまでの緊張感がほぐれ、和やかな雰囲気になってきました。私とは例えば、時間切れの「チン」で強制終了となり、準備不足を後悔するハメになりました。

### 「夜の部」

幹講時代とは異なり、飲酒黙認(公認)となったことで盛り上がりつつありました。

私も当日分のレポートをやっと書き終え、参加しようとして自販機にビールを買いに行ったのですが全部売り切れ！で飲み損なってしまいました。国際会館の職員に呆れられつつ、先に買ったときや良かった!!とお茶を飲んで解散となりました。

### 第四講座「IT活用法」

二日目最初は栗田研修学教委員による主に学校教育の場における、情報通信技術活用に関する講義です。日本では平成二十一年以降ハードウェアの普及が進んだのに対して、ソフトウェアの導入や活用指導研修の受講といったソフト面での遅れがみられることや、地域により取り組み状況が大きく異なることが紹介されました。個人的にはデジタル教科書だの教育の場でのインターネット利用など大反対なのですが、時代の流れは確実にそちらに向かっている感があります。

### 第五講座「珠算史・算法」

大垣研修学教委員による講義前半は、メソポタミアの砂そろばんに始まるそろばんの歴史について定説と異説を交えての解説でした。私たちが日常何気なく使っているそろばんに人類の叡智の結集と言っても良い程の歴史がある